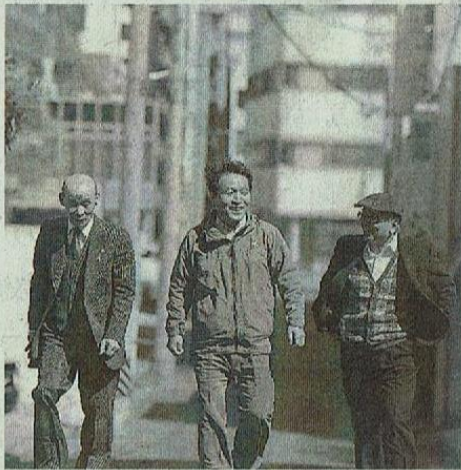


## 冤罪と闘う「獄友」の絆描く 22日から多摩地域で巡回上映



「獄友」の一場面  
＝キムーンフィルム提供

冤罪を訴えて闘ってきた5人の男性が、「塀の外」に出た後の姿を追うドキュメンタリー映画「獄友」が9～12月、多摩地域で巡回上映される。手がけたのは武蔵野市在住の金聖雄監督と小金井市在住の陣内直行プロデューサーだ。

5人は、1967年の「布川事件」の桜井昌司さんと故・杉山卓男さん（いずれも2011年に無罪確定）▽1990年の「足利事件」の菅家利和さん（2010年に無罪確定）▽1963年の「狭山事件」で逮捕後、94年に仮釈放され、再審請求中の石川一雄さん

「前向きに生きる姿見て」

▽66年の「袴田事件」で逮捕され、2014年に地裁で再審開始が決まり釈放されたが、高裁で決定が取り消された袴田巖さん。

自分たちを「獄友」と呼び、互いに支え合い、獄中の出来事を懐かしそうに話す。彼らはなぜ「自白」したのか、獄中で何があったのか――。カメラはそれぞれの人生や友情を追う。

金監督は狭山事件、袴田事件に焦点を当てた作品を手がけた。そうした流れの中で5人の「奇妙で特別な関係」を描こうと「獄友」を製作。費

用の一部は多摩地域の市民らのカンパで賄われたという。

陣内プロデューサーは「日々の暮らしの中にも（冤罪への）落とし穴はある。それでも希望を持ち、人生を前向きに生きようとしている人たちの姿を見てほしい」と話す。

上映は小金井市・9月22日▽立川市・同29日▽国立市・10月5日▽西東京市・同13日▽八王子市・同19日▽調布市・11月1日▽東久留米市・同9日▽小平市・同17日▽武蔵野市・同25日▽東村山市・同30日▽多摩市・12月15日。前売り1300円、当日1500円。上映時間や施設は公式サイトを参照。問い合わせはキムーンフィルム（042・316・5567）へ。

（河井健）